

第12回 北九州脳卒中地域連携パス協議会

議事録

日時：2013年1月17日（木） 19:00～19:15

場所：リーガロイヤルホテル小倉

出席者（敬称略）（順不同）：

委員長：石束 隆男

副委員長、事務局代表：蜂須賀 研二

副委員長：浜村 明德

事務局幹事：高橋 真紀、事務局担当：杉保 聖子

委員：

三萩野病院	理学療法士	宮原 夏子
北九州総合病院	脳神経外科	前田 仁史
北九州市立八幡病院	脳神経外科	越智 章
製鉄記念八幡病院	脳血管内科	藤本 茂
製鉄記念八幡病院	リハビリテーション部	小柳 靖裕
九州厚生年金病院	理学療法士	林 秀俊
牧山中央病院	内科	本村 良次
正和中央病院	リハビリテーション科	浦上 泰成
九州労災病院	看護師	森本 タケ子
安倍山公園病院	内科	田中 繁
東和病院	作業療法士	河野 修
北九州八幡東病院	理学療法士	山下 太
正和なみき病院	リハビリテーション科	浦上 泰成
新生会病院	ソーシャルワーカー	岩丸 悦子
東筑病院	リハビリテーション科	前川 信行
戸畑リハビリテーション病院	作業療法士	東谷 成晃
北九州市立門司病院	ソーシャルワーカー	前田 秀隆
松井病院	内科	松井 豊
鞍手町立病院	理学療法士	今永 真之
香月中央病院	理学療法士	宮崎 達也
慈恵曾根病院	看護師	小川 静江
相生リハビリテーションクリニック	リハ科	牧野 健一郎
新中間病院	ソーシャルワーカー	蛙田 沙矢香

神原クリニック	作業療法士	泊 政次
浅木病院	作業療法士	峯浦 達雄
町立芦屋中央病院	理学療法士	福田 明仁
北九州湯川病院	理学療法士	丸山 勝人
あやめの里	理学療法士	志田 啓太郎

欠席者：

担当理事：井手 誠一郎

オブザーバー：重吉 桂司

新小文字病院	脳神経外科	金子 陽一
健和会大手町病院	脳神経外科	末廣 栄一
小倉記念病院	神経内科	古田 興之介
北九州市立医療センター	脳神経外科	勝田 俊郎
新小倉病院	脳神経外科	吉開 俊一
九州労災病院	脳神経内科	荒川 修治
済生会八幡総合病院	脳神経外科	岡本 右滋
産業医科大学病院	ソーシャルワーカー	野田 雅美
戸畑共立病院	脳神経外科	辻 武寿
福岡新水巻病院	脳神経外科	金 茂成
健和会大手町病院	看護師	鴨崎 治美
小倉リハビリテーション病院	リハビリテーション科	大野 重雄
芳野病院	理学療法士	小西 智晴
戸畑けんわ病院	リハビリテーション科	二見 哲夫
遠賀中間医師会おかがき病院	ソーシャルワーカー	野邊 薫
宗像水光会総合病院	ソーシャルワーカー	下濱 絵里香
北九州中央病院	脳神経外科	愛甲 康隆
大原病院	介護支援専門員	稲富 武史
宮田病院	ソーシャルワーカー	赤星 宣子
大平メディカルケア病院	理学療法士	大橋 繫
八幡慈恵病院	院長	真角 正
伸寿苑	ソーシャルワーカー	若月 伸一
二島医院	院長	武 彰

九州労災病院門司メディカルセンターについては委員未選定

委員以外が出席した登録医療機関

製鉄記念八幡病院、産業医科大学病院、新小文字病院、小倉記念病院、北九州市立医療センター、新小倉病院、三萩野病院、北九州総合病院、九州労災病院、済生会八幡総合病院、北九州市立八幡病院、九州厚生年金病院、戸畑共立病院、牧山中央病院、正和中央病院、福岡新水巻病院

小倉リハビリテーション病院、北九州安部山公園病院、東和病院、芳野病院、北九州八幡東病院、正和なみき病院、新生会病院、東筑病院、戸畑けんわ病院、戸畑リハビリテーション病院、遠賀中間医師会おかがき病院、宗像水光会総合病院、北九州市立門司病院、松井病院、北九州中央病院、大原病院、宮田病院、鞍手町立病院、香月中央病院、慈恵曾根病院、相生リハビリテーションクリニック、新中間病院、八幡慈恵病院、神原クリニック、浅木病院、町立芦屋中央病院

あやめの里

一般出席者

急性期病院	医師	20名	医療従事者	35名
回復期病院・その他	医師	8名	医療従事者	62名
行政・企業関係		3名		

司会：北九州脳卒中地域連携パス協議会 委員長 石束 隆男 先生

議事内容：

北九州脳卒中地域連携パス事務局 幹事、高橋より以下の内容について報告した。

1. 連携パス集計結果

これまで急性期病院、連携病院のどちらかから医師会を経由して当事務局に送付された連携パスシートは合計 1649 件であった。このうち急性期病院のみに送付されている連携パスシートが 1120 件、連携病院のみに送付されている連携パスシートが 1335 件であることから未送信の連携パスシートは、急性期病院 529 件、連携病院 314 件であると推測される。

急性期病院に送付された連携パスシート 1120 件でみると、年度別の利用数は、2009 年度 231 件から 2010 年度は大きく増加し 442 件であった。2011 年度、2012 年度については現在のところそれぞれ 289 件、158 件であるが、まだ送付されていない連携パスシートがあるため、最終的には前年度並みの利用数になる見込みである。発症時平均年齢は 73.6 歳であり、年代別では 70 歳代が最も多く、90 歳以上の発症は全体の 5.7%を占めており、全国集計と比較すると北九州は脳卒中の発症年齢が高い傾向にあると言える。病型別発症割合は脳梗塞が 6 割強、脳出血が 3 割であった。急性期病院の退院時 NIHSS は平均 5.9 点、退院時 Barthel Index(BI)は平均 47.7 点、入院日数は平均 28.4 日であった。

以下は、全ての利用連携パスのうち、急性期病院、連携病院双方のデータが揃っている 792 件について解析を行った結果である。退院時 BI の急性期病院、連携病院の年度別平均点をみると、連携病院の退院時 BI は毎年 70 点前後で変化がないのに対し、急性期病院では 2009 年度 42.8 点、2010 年度 48.2 点、2011 年度 52.5 点、2012 年度 53.5 点と年々上昇していた。これは連携パス導入以降、急性期病院でのリハを含めた脳卒中ケアの質が充実したため、患者の退院時の ADL 能力が向上した結果であると推察され

た。年度別入院日数は、急性期病院で 25～30 日、連携病院で 85～90 日であり年度間での大きな差はみられなかった。BI 利得（＝連携病院退院時 BI－急性期病院退院時 BI）は 2009 年度 25.8 点、2010 年度 21.9 点、2011 年度 18.1 点、2012 年度 18.5 点、BI 効率（＝[連携病院退院時 BI－急性期病院退院時 BI]／連携病院入院日数）は 2009 年度 0.42 点、2010 年度 0.31 点、2011 年度 0.15 点、2012 年度 0.32 点であり、急性期病院の退院時 BI の点数上昇の影響を受ける結果であった。連携病院の自宅退院率は 2009 年度 67.9%から 2010 年度 63.5%に低下したものの、その後は 2011 年度 64.7%、2012 年度 74.2%と上昇していた。

2. 一括申請【退院時指導料（Ⅱ）】について

現在、連携外来医療機関（かかりつけ医）で、協議会に参加あるいは連携パスを利用している医療機関は少なく、診療報酬を算定するための申請手続きの煩わしさその一因であると考えられた。そのため今後は、事務局が計画管理病院、連携外来医療機関の書類を取りまとめて一括申請することとした。2012 年は登録申請を希望する連携外来医療機関は 1 件であり、近日、申請書類を計画管理病院に送付予定で、すべての書類が揃った時点で九州厚生局に一括申請を行う。また、今後は原則、年に 1 度の申請を行う予定である。

3. 事務局連絡事項

① 第 13 回北九州脳卒中地域連携パス協議会の開催予定

2013 年 6 月 6 日（木） 19:00～ ウェルとばた中ホール

② これまで同様、パス使用時はコピーを下記北九州医師会へ FAX または郵送をして頂きたい。

〒802-0077 北九州市小倉北区馬借 1-7-1

北九州医師会内 北九州地域連携運営委員会

FAX 093-513-3816

③ 今後の連携パス運用に活かすため、連携パスへのご意見やご要望をお聞きしており、また、今後の協議会の議題等についてのご要望もあれば併せて下記までご連絡頂きたい。

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1

北九州脳卒中地域連携パス協議会事務局（産業医科大学リハ医学講座）

担当職員：杉保 聖子、事務局幹事：高橋 真紀

Fax: 093-691-3529 E-mail: reha@mbox.med.uoeh-u.ac.jp

文責 北九州脳卒中地域医療連携パス協議会 幹事

高橋 真紀